

令和7年10月31日
総合地球環境学研究所
京都府教育委員会

全国初

小学校にコンポストハウスが完成

総合地球環境学研究所と京都府教育委員会との連携事業として、「食品ゴミから肥やしを作ろう」をテーマに、給食食材の廃棄された生ごみ（野菜くずや食べ残し等）を畑や花壇の肥やしとして再生利用する環境教育に取り組んでいます。

この度、事業の一環としてアート作品『コンポストハウス』が完成しましたのでお知らせします。

- 1 日 時 令和7年11月7日（金） 午後2時から
- 2 場 所 井手町立井手小学校中庭
〒610-0302 京都府綴喜郡井手町井手野神 38 番地
- 3 出席者 『コンポストハウス』作家 保良 雄（美術家）
総合地球環境学研究所 教授 大山 修一
研究員 青池 歌子
山城教育局 局長 坂田 康一
井手町教育委員会 学校教育課長 木村恵理
井手町立井手小学校 校長 鐘築 栄滋
5年生児童
- 4 内 容 (1) コンポストについて 大山教授
(2) 『コンポストハウス』の特徴について 保良氏
(3) コンポスト授業について 青池研究員
(4) 学校での取組について 鐘築校長、児童代表
- 5 その他 この取組は、令和4年6月30日付けで締結した総合地球環境学研究所と京都府教育委員会との協定に基づき実施するものです。

【コンポストハウスについて】

『コンポストハウス』は、2024 年 11 月から 2025 年 3 月まで金沢 21 世紀美術館で開催された展覧会「すべてのものとダンスを踊って—共感のエコロジー」で展示された、美術家 保良 雄と、総合地球環境学研究所 有機物循環プロジェクト（研究代表者大山修一）との共同作品です。コンポストは野菜くずや食品ごみを分解し、土に戻します。この分解プロセスでは、かならず発酵熱が出てきます。このコンポストが生み出す発酵熱を利用して、温室をつくりだし、室内で植物を育てることができます。

2023 年より、有機物循環プロジェクトのメンバー、塩谷暁代と青池歌子が井手小学校 5 年生を対象とし、コンポストづくりの授業をつづけています。このたび、井手小学校に『コンポストハウス』を設置することで、子どもたちの科学やアートへの興味を引き出し、コンポストがより身近なものとなって、環境問題を考える第一歩になってほしいと考えています。



『コンポストハウス』（金沢 21 世紀美術館，2024 年 11 月）

問い合わせ先	京都府総合教育センター		
	連携事業担当	丸川	090-8655-0046 遠山 090-4907-7658